

会 議 録

1 会議名

令和2年度 第5回高土区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 地域活動支援事業の追加募集について（公開）

- ① 進め方の説明
- ② ヒアリング
- ③ 採点
- ④ 審査・採択すべき事業の決定等

(2) 高土区の概要について（公開）

3 開催日時

令和2年9月9日（水）午後6時30分から午後7時50分まで

4 開催場所

高土地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：青木正紘（会長）、井澤裕一、上野秀平、玄蕃郁子、杉田一夫、
高橋清司（副会長）、立入真太郎、田中利夫、塚田春枝、樋口里美、
日向こずえ（副会長）、松山公昭（欠席なし）
- ・ 事務局：中部まちづくりセンター 本間センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【山崎主事】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【青木会長】

- ・挨拶

【山崎主事】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【青木会長】

- ・会議録の確認者：高橋副会長

次第2議題「(1) 地域活動支援事業の追加募集について」の「① 進め方の説明」に入る。事務局に説明を求める。

【山崎主事】

- ・本日の進め方について説明

【青木会長】

以上で次第2議題「(1) 地域活動支援事業の追加募集について」の「① 進め方の説明」を終了する。

次に「② ヒアリング」に入る。ヒアリング中の進行は事務局に一任する。

— 提案者着席 —

【土-追1 提案者】

- ・「土-追1 コロナに負けるな！『高土元気花火』打ち上げによる地域交流・地域活性化事業」の概要説明

【山崎主事】

「土-追1」について質疑を求める。

【松山委員】

2点ほど確認である。まず経費についてである。55万5千円で花火の見積もりが出ているが、高土ルミネの花火は40万円で見積もりが出ていた。金額の違いについて教えてほしい。次に提案書に「子どもたち」とあるが、子どもとは何歳までのことを言うのか。また今回の提案では、子どもたちが「参加」ではなく「参画」をしているところはあるのか。提案書には「子どもたちがチラシを手作りで作成」とあるが、提案の時点で子どもたちも話に入っているのかを教えてほしい。「参加」ではなく「参画」しているのかを確認したい。

【土-追1 提案者】

まず高土ルミネの花火との違いについてである。もちろん内容は55万5千円ではな

くてもできる話である。今までの高士ルミネの花火を見ていると、できる限り時間を長くするために、間隔を空けて打ち上げをしていたように思う。打ち上げの内容の詳細については、これから花火師と打ち合わせをするつもりである。どんな内容がよいか、子どもたちと一緒に考えたいと思っている。次に「子ども」の対象年齢についてである。自分の高校3年生の子どもにこの話をしたところ、楽しみだと言っていた。自分としては20歳になるまでが子どもであってよいと思っている。

【高橋副会長】

チラシの作成費用が団体の自己負担となっている。高士地区振興協議会では毎年開催している夏祭り等が今年は新型コロナウイルスの影響により開催されない。金額がかさむようであれば、振興協議会でも協力できればと考えている。振興協議会に協力要請等をしていただければ、自己負担も軽減できると思っている。

【土-追1 提案者】

ぜひ、相談させていただきたいと思う。貴重な意見に感謝する。

【玄蕃委員】

今年度は残額が生じて2次募集が実施された。例えば、新型コロナウイルスの感染拡大が次年度も続いた場合や、次年度予算がなかった場合はどうするつもりか。

【土-追1 提案者】

正直、次年度も新型コロナウイルスの影響等が続いていた場合は地域活動支援事業に提案したいと思っている。ただ、お金がない中であっても子どもたちに対してできることはあると思うため、できる限りのことはしたいと思っている。

【玄蕃委員】

それは花火だけではなく、別の活動を行うということによいか。

【土-追1 提案者】

そうである。

【上野委員】

今年の6月に発足・設立されたということであり、ママさんたちが非常に頑張っている姿を自分は見ている。今ほど玄蕃委員からも発言があったが、今年度に限らず、次年度以降も別のかたちで継続して地域活動支援事業に提案し、地域活性化の取組をお願いしたいと思う。

【土-追1 提案者】

今後とも頑張っていきたいと思う。

【山崎主事】

以上で、ヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

【青木会長】

ヒアリングが終了したため、特定事業への適合判定を行う。事務局より説明を求める。

【山崎主事】

「土-追 1」が、今年度の募集テーマの「集まれ！子育て世代 ～子育て世代の活動を応援します～」や「人を呼べる新たなまつり」に該当しているか判定願う。

【青木会長】

今の説明に質疑を求める。

【松山委員】

資料のどのページに特定事業について記載されているのか教えてほしい。

【山崎主事】

本日配布した資料には記載がなく、今年度の応募の手引きに「子育て世代を応援するもの」「新たなまつりに該当するもの」に5点加算すると記載している。

【松山委員】

第2回協議会の資料3の「特定事業の決定」と同様に行うのか。

【山崎主事】

そうである。

【青木会長】

ほかに質問はあるか。

(発言なし)

特定事業について協議を始める。該当するか否かについて意見を求める。

(発言なし)

では、特定事業に該当するか否かについて採決を取る。該当すると思う委員は挙手願う。

(全員挙手)

採決の結果、特定事業に該当することに決する。

続いて「③ 採点」に入る。自宅で仮採点を行った委員も必要に応じて見直し、採点の終了した委員は事務局に採点票を提出願う。提出した委員より順次休憩願う。

【松山委員】

先ほどの説明で、特定事業に該当する場合には5点加算されるとあったが、自分の採点結果に5点を加算するということか。

【山崎主事】

事務局にて集計し、最後に5点を加算する。そのため委員の採点票の段階では、加点を行う必要はない。

— 休憩 —

【青木会長】

会議を再開する。

次第2議題「(1) 地域活動支援事業の追加募集について」の「④ 審査・採択すべき事業の決定等」に入る。これより採択の可否について審議し、その後、補助額について審議する。事務局より集計結果の報告を願う。

【山崎主事】

- ・集計結果を報告
 - ・基本審査判定：12人全員が「適合する」と評価
 - ・採択方針：12人全員が「適合する」と評価
 - ・基本審査基準による採点（平均点）：
 - 公益性 10点満点中、7.5点
 - 必要性 5点満点中、3.9点
 - 実現性 5点満点中、4.3点
 - 参加性 10点満点中、8.2点
 - 発展性 5点満点中、3.8点
 - ・5つの項目の合計：27.7点
 - ・特定事業の該当による加点により、最終的な点数：32.7点
 - ・その他特記事項：「今後の事業継続のためにも、地域活動支援事業費だけでなく、地域住民に花火応募などで支援をいただくなど検討してほしい。」

【青木会長】

では、採択の可否について採決を取る。採択に賛成の委員は挙手願う。

(全員挙手)

採決の結果、採択すべき事業に決する。

続いて補助額について審議する。今回の補助希望額は追加募集額の 55 万 5 千円と同額のため、財源に合わせた減額は必要ない。減額について意見を求める。

【松山委員】

予算については、当初募集で提案のあった高士ルミネの花火の補助額は 40 万円であり、今回の追加募集での補助希望額は 55 万 5 千円である。当初募集と逆の金額であればよかったのだが、追加募集の補助希望額のほうが高額であることに違和感がある。

【上野委員】

提案者はいろいろ考えてこの金額を提案していると思う。また、業者からもこの金額で見積もりが出されている。高士ルミネで打ち上げられる 40 万円分の花火の回数・花火の量、これらを含めて、新型コロナウイルスの影響を少しでも緩和するために花火を打ち上げるとの気持ちにもなってもよいと個人的には思っている。また、やはり花火は子どもたちや地域住民も楽しめるものだと思う。今回の提案は追加募集のため、このような金額になったのかと思うが、個人的に高士ルミネの花火はもう少し多くてもよいと思っている。別の補助金を削ってでも支援したいと思っているため、満額採択がよいと考えている。

【青木会長】

他に意見はあるか。

(発言なし)

会長として一言発言したい。毎年開催される高士ルミネの花火は、量が少なく打ち上げられたのか分からないうちに終わってしまうように思う。子どもたちに花火を見せてあげたい、楽しませたいとの思いがあり、この事業が採択された際にはいつもの倍以上の花火が打ち上げられることになる。しかし、本当にそれがよいのかは分からない。とりあえずは今回、新型コロナウイルスの影響等があり、何をやるのかを考えた中で花火という選択肢は、個人的には非常によかったと思う。先ほど次年度以降についての質問もあったが、これを機に花火の打ち上げを継続してもよいと思っている。別のかたちであっても継続していくことに意味があると思っている。花火打ち上げの費用としては、当初募集での高士ルミネの補助金額より多くなっているが、今回の事業目的を考えると問題はないと個人的には思っている。

【松山委員】

場所の問題もあるように思う。北方で花火を打ち上げてもこの辺りでは見えない。

【青木会長】

今ほどの意見については、附帯意見ということになるかと思う。確かに、子どもたちを集めて楽しませることについて、高士ルミネと一緒にやる必要もないようにも思う。そのため今一度、本当に子どもたちを楽しませる開催の方法を検討することもよいとも思う。他に意見はあるか。

(発言なし)

では補助額について採決を取る。提案事業を補助希望額どおり採択することに賛成の委員は挙手願う。

(過半数挙手)

【立入委員】

先ほど事業は採択されたが、改めて補助額を審議するということか。

【青木会長】

これが地域活動支援事業の審査の進め方となっている。提案自体を採択するか否かが最初の工程であり、次に補助額について減額すべきかを検討している。

【立入委員】

自分としては、基本的にそういったことをすべて含めて審議をし、採択額も含めて最終的に事業を採択するか否かを決めることが本来の筋かと思う。協議会で審議をして事業の採択は決定したが、補助額は10万円しか出せないとなれば、本末転倒になってくると思う。できることであれば、総合的にいろいろと審議をしたうえで最終的にこの内容で事業を採択するか否かといった審議の進め方のほうがよいと思う。

【青木会長】

委員の発言は理解した。

【松山委員】

個々に採点し金額についても点数をつけたが、個々の判断や考えは異なるため、改めて確認をしているのだと思っている。事業としては採択されたが、補助額について問題はないのかを改めて確認しているのだと思う。

【井澤委員】

今回の追加募集には、たまたま1団体からしか提案されていない。だが複数の団体

からの提案がされた場合、募集額に対して補助希望額が超過する場合もある。そのため、採択をして金額を決するとの工程も大事なことだと思う。

【青木会長】

いろいろと意見はあるかと思うが、今ほど採択は決したため、この進め方で了承願いたい。

【松山委員】

審議の進め方について、事務局に補足を願ってはどうか。

【本間センター長】

補足する。先ほど井澤委員が発言した内容が、まさしく事務局が意図していることである。いくつかの事業提案がされて減額の必要がある場合や、募集額内に収まっているが地域協議会として補助すべきではないと思われる経費が含まれている場合もある。そのため、まずは事業を採択し、次に中身を審議して補助額を決定する流れになっている。

【青木会長】

理解いただけたか。事業には、検討の必要がある事業やそうでない事業等、様々なものがある。丁寧に事を進めるということである。

【松山委員】

点数をつける前に採点票で「適合するか・しないか」と聞かれ、適合すると判断した事業について採点をして点数を付けている。その点数について「どうですか」と聞かれているわけであり、自分は理解ができていると思うのだが、間違いはないか。

【本間センター長】

適合するか否かについては、地域活動支援事業の補助金の趣旨に合っているか否かを確認しているものである。そして点数は採点票にある5項目について付けた点数であり、金額については聞いていない。事業内容に問題はないかと内容の判断をしていただくものが採点票ということである。そのため、今はそのあとに続いて金額に問題はないのかを改めて会長より確認している。

【上野委員】

参考までに補足である。平成28年度に追加募集があり、自分は体育協会として提案をした。ただし、何件かの提案があり募集額を超過していたため、一部減額で採択されている。今年度の追加募集への提案は1事業のみであるが、この金額で妥当か否か

を協議し、青木会長は採決を取ったと思う。今年度は1件しか提案されていないため不思議に思う部分もあるかと思うが、過去には追加募集で減額されたこともある。

【塚田委員】

当初募集の際は、1事業ごとに金額まで踏み込んで検討はしなかったように思う。それについては追加募集だからということか。

【山崎主事】

追加募集だからこのような進め方をしているわけではなく、当初募集の際にも同じような流れで審査を行った。

【松山委員】

個々の事業の補助額については確認がなかったように思う。

【青木会長】

それは会長である自分の進行に不備があったのだと思う。議長の責任ということで了承願う。

最後に附帯意見について審議する。これまでにいろいろな意見が出たが、例えば来年度以降も継続していくことについての意見が出ていた。意見を求める。

【玄蕃委員】

自分が公務員であったこともあり、税金をいただくことは、とても大変なことだと思っている。それを思うと、追加募集額の55万5千円を全て使って花火を打ち上げるということに実は個人的に抵抗がある。新型コロナウイルスの影響がある中で、子どもたちのために補助金を使用することは本当によいことであり、若い人たちの集まりが補助金を活用してまちづくりをすることを応援することも、すごくよいことだと思う。しかし、それがたった1年で終わってしまったり、たまたまお金があったから実施したが来年は続けなかった場合、本当に子どもや地域住民、まして地域のためになるのかが疑問である。お金がなければ何もできない地域になってはいけないと思った。例えば地域の中で花火の打ち上げを支援をしてくれる住民もいるかもしれない。現在はなくなってしまったが、以前清里区で花火を打ち上げていたことがあった。ぽつんと打ち上げられるのだが、その際は本当に多くの人が見に来ていた。例えば「結婚おめでとう」と祝いの文句をつけて打ち上げられたりするのだが、自分たちも参加しているという気持ちになれる。こんなことを言うては本当に失礼だと思うが、これから元気のあるまちづくりをしていくには、お金に頼ってはいけないように思う。例

えば高士ルミネについてもそうである。今後も続いていくのか・続いていかないのか、地域の人たちが興味を持つか・持たないかというのは、ただやるだけでは駄目なのだと思う。どうやって地域を巻き込んでいくのかということだと思う。それは「継続性」の評価にすごく出てくると思うため、言葉がまとまっていないのだが採点票の特記事項に記入した。地域協議会として文言を検討してほしいと思う。

【松山委員】

この後の議題の中で「高士区の人口について」があるため、そこで子どもについての話をしようと思っていた。だが先にこの話が出たためここで話をする。今回の採択方針に「集まれ！子育て世代」とあり、子どもたちを育てていこうとの意味合いが大きくあると思う。今年は花火の打ち上げとしているが、次年度以降は花火ではなくても、何かしら他のかたちで進めていけるようなものを提案してほしいと思っている。また「ママさん」となっているが、今後は父親や祖父母等も一緒に活動できるよう、ママさんたちから引っ張ってもらいたいと思っている。自分は「発展性」には低い点数を付けたが、単年度だけではもったいない話である。これについては、次の議題の中で改めて確認したいと思うのだが、子どもを育てていくことについて基本的な話をしていければと思う。附帯意見として継続してほしい旨を加えてほしい。

【青木会長】

他に意見はあるか。

(発言なし)

以上で次第2 議題「(1) 地域活動支援事業の追加募集について」の「④審査・採択すべき事業の決定等」を終了する。

次に次第2 議題「(2) 高士区の概要について」に入る。地域活動支援事業の審査が終了したため、これからは自主的審議に入っていくことになる。今後、高士区の自主的審議としてどのようなことをテーマとするのか検討していくことになるのだが、前期4年間で審議を行い、その結果として今回の追加募集でのママさん会からの提案が出されたように思う。自主的審議事項の基本的な流れや、高士区の人口、公の施設、前期委員の活動概要について事務局より説明を求める。

【山崎主事】

・参考資料、資料1・2に基づき説明。

【青木会長】

高士区の現状として、次回以降に協議していく自主的審議のベースとなるものとして各自踏まえておいてほしい。自分は地域協議会委員として2期目になる。最初に人口データを見た際は大変だと思い、いろいろと考えてはきたのだが、何をどうすればよいのかというところには辿り着かなかった。それらも踏まえて、今期の地域協議会でどのようなことができるのかについて、次回以降審議していきたいと思っている。今の説明に質疑を求める。

【松山委員】

高士区に関するデータについてである。毎年でなくてもよいため、小学校の在校生の人数の流れを数値で教えてほしい。また、現在小学校は複式学級となっているが、この後はどのような流れとなるのか。保育園や小学校の統廃合について次回説明を求めたい。

【青木会長】

次回、事務局より説明を求める。他に質問等あるか。

(発言なし)

以上で次第2議題「(2) 高士区の概要について」を終了する。

次に次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。次回の協議会では、今年度の地域活動支援事業の振り返りや、今後の自主的審議についての意見交換を行う予定である。

— 日程調整 —

- ・次回の協議会：10月15日（木） 午後6時30分から 高士地区公民館 大会議室
- ・内容（案）：地域活動支援事業の課題の洗い出し、自主的審議

【日向副会長】

- ・閉会の挨拶

【青木会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。